

キャリア☆フェス神栖2023



未来へつなぐ一歩

2023年8月26日(土) 防災アリーナ

子どもたち自身が、これからどんな歩み・学びをするのかを考えるきっかけ作りを目的に、神栖市ゆかりの企業・事業所や大学などの協力を得て開催しました。

看護・医療体験

ちびっこナーズ服試着体験
車いす体験
妊婦体験

妊婦体験を通して、鹿行地域の看護師不足を知ってもらい、看護師が増えることを願っています。(茨城県看護協会鹿行地区)



お腹が重かった。将来は医者になりたいと思う。(男の子)

8カ月の重さの妊婦体験はきつくて大変だった。(男性)

必要な防災グッズはどれかな？

いつ起こるか分からない災害に備えて、身の回りのもので自分や家族に大切なものは何か考えてみよう！

災害時、自分たちがボランティア活動をする際に性別で役割を分担はしていませんが、妊婦や小さな子の関わりは女性が活躍しています。(茨大東北ボランティア*Fleur*)



家のヘルメットは自転車用で、頭巾はないので、机の下に隠れる。(4歳)

防災を知る機会があつてよかった。(母)

わくわく理科実験教室

簡単な理科実験教室

- ①水と油は混ざらない!?
- ②油汚れを落としてみよう!
- ③クリームをつくってみよう!

体験を通して、子どもたちの物づくりに役立てて理科実験などを身近に感じてほしいです。(花王株式会社)



将来化粧品を作ってみたい。(小4)

クリーム作りが楽しかった。(小1)

男女共同参画セミナー 理系の魅力聞いてみよう!

2023年12月22日(金) 神栖第一中学校

中学で学んだことは将来絶対役に立つ



コーディネーター宇野則子さん
NPO法人ファーストペンギンネットワーク代表理事

理工系分野に興味や関心を持ち、進路の選択が広がることを目的として、AGC株式会社の先輩社員と交流会を行いました。鹿島工場では、せっけんや化粧品の原料などを製造しています。セミナーでは、コーディネーターが生徒と社員をつなぎ、気軽に語り合える場となりました



製造エンジニアとして活躍している五十嵐さんが、これから進路を選択する中学生に向けてお話をしてくれました。



【進路を決めた経緯】

中学生の時はまだ自分の進路は考えていませんでした。高校生になり、化学は苦手でしたが、ものづくりがしたいと思い、理系に進みました。その後、テレビで見た化粧品の開発に興味を持ち、化学系の大学に進路を決めました。大学院では研究に打ち込み、のちにAGC株式会社に入社しました。

生徒から 質問コーナー



Q どんな人が向いている仕事ですか？

A なぜだろう？と疑問を持ち、考えることが好きな人や、チームで働くので積極的にコミュニケーションを取れる人が向いていると思います。

Q どんなときにやりがいを感じますか？

A 作った製品がお店に並んでいるのを見た時、その製品を必要としている人がいることを実感した時や、うまくいかなかったことが解決した時にやりがいを感じます。

Q 仕事に就くために必要な資格はありますか？

A 特にありませんが、入社してから必要になる場合もあります。

Q 理工系に就く過程で苦労したことはありますか？

A 私は、将来何をしたいか、どう行動したらよいか分からないことに悩み、苦労しました。中学生の皆さんは焦って今すぐ進路を決める必要はありませんが、自分が好きなことや、気になっていることに、とりあえず進んでみるのも大切だと思っています。



総務 竹本さん



製造エンジニア 五十嵐さん

読者の声 子どもと話し合いができ、子どもが“気づいた”ことができたのがよかったです。今後、子ども向けのページがあればよいと思います。

花王株式会社鹿島工場

全員が幸せに働ける工場を目指す

「花王グループ」と聞くと、日用品や化粧品を取り扱っているため、女性が多く活躍しているというイメージを持つ方もいると思いますが、工場となると男性が圧倒的に多く、女性は1割にも満たないそうです。

2021年4月から女性作業員が製造現場に初めて配属されたことに伴い、現場での作業性や女性特有の課題への改善が必要となりました。このことをきっかけに全社員が働きやすい職場を目指し、2022年からプロジェクトチームを発足させました。チームのメンバーは女性4名男性4名で、製造直接部門、間接部門から選出された社員で構成されています。月1回の定例で工場内の課題や改善点を報告し協議を行っています。

オーナーとして製造部門の部長が参加し、アドバイザーとして人事課長が参加していることで、改善活動を進めやすくしています。

アンコンシヤス・バイアス(※)に関しては全社員にメールで啓発を行っており、意識を変えていく取り組みを進めています。

(※無意識の思い込み。何かを見たり、聞いたときに、気づかないうちに「こうだ」と思い込んでしまっている)



プロジェクトチームの会議の様子
メンバーそれぞれ活動テーマを持って主体的に取り組みを実施しています

～女性社員からの声～

- 女性が10名以上在籍しているフロアに洋式トイレが1つしかなく、その他フロアも和式が1つのみ。それ以外は男性用トイレのみ。
↓
洋式を増設し、和式を洋式に、男性用トイレは男女共用に改修した。
- 女性作業員が汗をかいた場合に、着替えられるスペースが職場の近くにない。
↓
屋内の旧喫煙室を女性用更衣室に改修した。

女性目線で製造現場の作業を改善

製造現場で女性作業員が作業しづらいと感じる箇所をリスト化し、改善を実施しました。

例えば、背が低い女性では手が届かない手動弁を遠隔操作できる自動弁に変更し、誰でも作業しやすいように改善しました。

また、重量物の持ち運びや現場作業員の腰への負担をサポートするためのマッスルスーツを導入しました。同スーツは、女性だけでなく男性やシニアパートナーにとっても働きやすい環境に向けての改善が期待され、負荷が大きい作業で活用されています。



原料仕込(20kg×5～10袋)で活用中

取材の中で松田課長から、プロジェクトの立ち上げによって今まで気付かなかった声を聞くことができたとお話を伺いました。例えば30年以上同じ作業服写真のものを使用してきましたが、女性にとっては大変気を遣う薄い色味であることなどは、声が上がらるまで気付かなかつたそうです。姿見用の鏡も設置しました。女性の視点で見た問題が改善されていくことで、より安心して働ける職場環境が実現し、女性だけではなく全社員のモチベーション向上につながっているようです。これからもさまざまな取り組みが発信され、社会全体で共有できたらよいと思いました。

男女共同参画推進事業者表彰受賞者 花王株式会社 鹿島工場



左から、地区サービスセンター人事総務グループ課長 松田さん、工場長 羽木さん、地区サービスセンター人事総務グループ 前間さん

読者の声 男女関係なくいろいろな職場で活躍されているインタビューを拝見して、自分も仕事を頑張りたいと思えました。横のつながり・・・大切ですね。